



発行
浮田地区コミュニティ会議
電話&FAX
0198-42-1681

タイトル画説明

夜目に明るい、カラスウリの白い花、夏の強い陽射しに濃きオレンジ色が映えるヒメヒオウギズイセン。黄色の色だけでなく実も愛らしいヒペリカム。
絵・文(実)

ドンドン！
ドンドンドドドコ、ドンドコ
軽快な太鼓の音で始まった第2回D。田舎サマーフェス(実行委員会主催)は8月5日、浮田の丘(旧保育園園庭)で開催されました。雨に悩まされた昨年とは違って変り連日の炎天下の中、スタッフが汗を流した特設ステージでは、満月組の和太鼓ショー(星鴉宮主宰)と、お馴染みの地元アコーディオン奏者肥田葉子さん



響け 真夏の夜



の演奏が繰り広げられた他「銀河鉄道の夜」(宮沢賢治原作)の映画が上映されました。
会場では生ビールやピザ、焼きそば等の屋台も賑わいを見せ、およそ180人がファイナーレの花火打ち上げまで夏の一夜を楽しみました。
上浮田の70代女性は「久しぶりの人に会えたし、太鼓も素晴らしく、アコーディオンでのフォークダンスも楽しかった。ストレス解消バッチリだよ」と話していました。(浩)

順位	氏名	スコア
優勝	小菅 勵(毒沢)	54
準優勝	釣木澤 俊孝(石宮)	59
第3位	千葉 依子(下浮田)	60
第4位	八重樫 静子(中内)	62
第5位	釣木澤 ハル(石宮)	62
第6位	佐々木 雅子(中内)	63

(多)

賞品が 足りない!?

6月24日、夏季グラウンドゴルフ大会は、初の試みで浮田の丘(旧浮田保育園園庭)で開催しました。遊具の間をくぐり抜けてホールインワン!砂場をうまく避けてホールインワン!障害物コースに四苦八苦しながらも、参加者27名のうちなんとホールインワン賞は11名、全ホール4打以下のサファイヤ賞は16名も出る結果となり「おもしろかったです」という声が多く聞かれました。

(3R24H)

獣害対策研修開催



6月16日大迫・内川目と石鳥谷・富沢を研修先に13名の参加で、農作物獣害対策研修が行われました。藤原大氏(花巻農村林務課)両地区の方に電気柵(電柵)での鹿、猪対策の経験をお聞きして来ました。

まず鹿、猪の被害にあった場所は、何も対策をとらないと、そこを餌場と思いつつも被害にあうとのことでした。

電柵は点検、草刈りが大切で、電線に草が触れると漏電して効果がなくなる。又、本体は能力に余裕があるものを選ぶこと(周りが1kmで4段で囲うと、電

線の総延長は4km、5段の時は5kmとなる)。

対策は団体で行う。未対策場所に被害が及ぶ。

電柵設置には花巻市で個人で3分の2、団体で4分の3、JAでも条件付きで補助があるとのことでした。

参加者からは「捕獲よりは電柵を試したいな!」との声も出ていました。

内川目地区で収穫した小麦粉を使用した、中太麺をお土産にいただき、解散となりました。



雨中、お疲れ様でした。(辰)

結いの里便り 編集委員会研修



五輪峠

6月7日、近隣の特色ある取組みや史跡及び景勝地などを学ぶことを目的とし開催されました。

最初に巡った五輪峠は道脇に五輪塔や石碑が建っており、峠の名として呼ばれるようになったそうです。

森からはハルゼミの鳴き声が聞こえて来たり、夏目前と感じました。

次に矢沢の胡四王山に移動し、神社を参拝しました。この神社は坂上田村麻呂が自らの兜に納めていた薬師如来像を奉納したのが始まりとされていて、頂からは岩手山なども眺められると

ても良い場所です。

昼食後は、石鳥谷の葛丸溪流へ行き、一ノ滝では水しぶきからマイナスイオンを沢山浴び、ダムでは昔あった集落図を見ながら現状と比較をしたり、改めて花巻市内には多くの学びの場があると感じた研修でした。

(賢)



胡四王神社から見た権現堂山



葛丸川一ノ滝

なごみホーム 花壇づくり



5月26日

区長など運営推進委員の皆さんや利用者さんなどで、なごみホームうきたの花壇

やプランターに花苗を植えました。「やつぱり花はいいですね」日々、利用者や来訪者の目を楽しませてくれていきます。地域の皆さんもぜひお散歩コースに取り入れてみては、いかがでしょうか。(多)



バードコールと野鳥観察

地域の自然環境の素晴らしさに触れる機会にしよう
と、7月1日、好天の下、開催しました。

講師は花巻野鳥の会会長の似内功孝氏。桜・胡桃・榛の木等から好きな枝を選び、鋸で切って、ドリルで開けた穴にボルトを取り付けて、教えられたように回している。なんと鳥の鳴き声に似た音が出るようになった。ではありませんか。

そのあとはバードコールを持って神社へ。鳴らしてみるとヒヨドリが反応して、近くの木からまた別の



木へ飛んで移るのを身近に見ることができました。また鳴き声が出る鳥図鑑の使い方を講師が教える。「カモを見たことがあるよ」「カラスの鳴き声だ」と言いながら夢中になる子どもたちの姿が見られました。(多)



東和ピザと 燻製おつまみが 旨い!

6月28日、「やなのうえcafe」主宰の高橋典人氏を講師にお迎えし、浮田振興センターで「ピザと燻製おつまみ講座」を開催しました。今回は、普段キッチンカーで焼いて売られている「東和ピザ」を自分でトッピングして食べられるとあって、受講生たちは終始笑顔。



講師からは、試行錯誤を重ねて現在の作り方に至った経緯などもお話頂きました。燻製にした鮭とハンバーグもお好みでトッピング。美味しいコーヒートの淹れ方ミニ講座、ピザ・燻製・コーヒーを楽しむための道具紹介、ポリ袋で捏ねるパン作り、と盛りだくさんで「こういう風に簡単に作る方法があるなら家でもやってみたい」とピザをお土産に解散となりました。(多)



発行50号に あたり お願い

今回「結いの里便り」が、50号と節目の発行(12年3ヶ月)となりました。初刊時は、忘れることのない、東日本大震災(平成23年3月11日午後2時46分)が発生した年でもあり、後に沿岸地域との交流記事も掲載致しました。記事を読み返すと、当初の記事内容及び編集委員の思考錯誤等感じられながらも、記事内容は今後はグレードアップされていく事と思われまします。本来このコーナーは、リレーエッセーで、編集委員が各地域の皆様へ寄稿依頼し掲載するコーナーです。初掲載29号から49号迄に21名の方々から寄稿頂きました。今後も、編集委員を介して地域の皆様へ寄稿をお願い致しますので、快くご協力をお願いします。寄題の自由課題と致します。寄稿者の自由課題と致します。記事等皆さんの経験した事、遠くから来た「ゆめ」でも宜しいです。(会長 千葉 雅宏)

ゆるゆると カントリーヘッジ (羊の生垣)

梅雨明けの翌日には強い陽射しの真夏日となつて、猛暑がそのまま続いている。東京の夏は道路からの熱射と圧を感じる湿度が苦手な北を目指したのに、東京の夏が追いかけてきた。そんな暑さの中、大迫に暮らす友人が訪ねてきた。羊の草地のところから道路沿いに胡桃や桑の木が立ち並ぶ。木陰に入った途端、涼しい空気を感じてほっとしたとのこと。羊も私も日々木陰に救われている。草地や柵周りの草木を選ぶ基本は羊が好んで食べる。こと。牧草は再生力が高いけれど、羊の好む野草は、いつのまにか草地から消え、好まないスキヤアシは掃除刈りが必要とする。暮らしの基に羊がいる。羊の環境を考え、整えてきたことで、私も心地よく過ごせる環境になっていた。工房名「はらっぱ・羊」命名から25年も経ち、ようやく輪郭が見えてきたか…(山本 実紀)

思いをはせた古代と宇宙



埋蔵文化センター



宇宙遊学館

7月19日に生涯学習部研修があり、あいにく雨模様でしたが奥州市の埋蔵文化センターと奥州宇宙遊学館に行ってきました。

『胆沢城』、坂上田村麻呂と『蝦夷(えみし)』、古代東北の英雄、阿弓流為(あてるい)の関わりを学芸員の方からお聞きました。

同市内の宇宙遊学館に足を運び、星の位置を測定するための、くもの糸を使った昔の望遠鏡等を見学。星空を見上げ、天文学者の宇宙への夢と努力の繰り返しで名のある星に結びつき、今の時代に続いていくのだと思いました。

(二三)



事務局だより 「遊局だより」

今回は2つのことについてご紹介します。

今年の「浮田地区芸農まつり」は10月29日(日)の開催と実行委員会に於いて決定しました。

例年通り舞台では神楽をはじめ、地域の皆さんの演奏や歌、踊りなどの発表。講座や家庭で作った作品の展示。野外では昨年も好評を博した軽トラ市を展開し、恒例の窯焼きピザや地域の農産物、手作り工芸品の販売などを行います。



↑ 昨年の様子 ↓

9月には地域の皆さんに軽トラ市の出店参加申し込みや、舞台出演、作品展示の申し込みを受け付けますので、奮ってご参加ください。

そのほかにメイン会場となる振興センター脇の講堂では、豪華景品?争奪ウルトラクイズを企画。また、終盤には4年ぶりの餅まきも予定しています。時間は9時半スタートで13時終了予定です。是非ご家族やご近所お誘い合わせてご来場ください。

「市政懇談会」のお知らせ

10月10日(火) 18時より浮田振興センターに於いて開催されます。

浮田地区が抱える身近な問題など、市当局と話し合う良い機会です。

また、市長以下、各部長も出席の予定ですので、多くの皆さんのご参加をお待ちいたしております。

(輝)

編集後記

本紙「結いの里」はおかげ様で、50号を迎える事ができました。過日、他地域の振興センターの職員さんとお会いする機会がありました。その職員さんからは「結いの里は毎月見えています。他の広報誌はセンター職員が作っているのに浮田さんはみんなですべて書いています。それは素晴らしい事だと思います。」との言葉をいただきました。手前味噌になりましたが、編集委員の頑張りや認められた気が嬉しくなりました。これを機会に、編集委員は一層心を一つにして「良い紙面作り」に精進して参ります。益々のご愛読をお願いいたします。(浩)

編集委員長

平野 浩一(宮田)

編集長

山本 実紀(毒沢)

編集委員

山口 友恵(宮田)

千葉 三恵(中内)

多田 辰雄(上浮田)

千田 浩志(毒沢)

小田島 賢志(下浮田)

渡辺 郁美(中内)

題字

千葉 稔(下浮田)

事務局

藤井 輝雄(中内)

小田島 多賀子(下浮田)